

ロシア（極東）

投資の減少幅が加速

2013年上半期の極東の固定資本投資は、対前年同期比20.9%もの大幅な減少となった。2012年から始まった投資の減少はますます加速している。この傾向は、沿海地方で特に顕著であり、同地方の建設資材（非鉱物）の生産が前年同期比31.7%減少するなどの影響が出ている。とはいうものの、鉱工業生産全体にはそれほどの影響は見られない。小売売上高や実質貨幣所得など、家計部門の指標も全国平均を上回っている。以前も指摘したが、投資の減少は主に連邦予算資金による大型プロジェクトが終了したことによるものであり、もともとこれらは地域経済には必ずしも寄与していなかったことが強く示唆される¹。

極東バイカル発展プログラム（続報）

前々回の動向分析²で取り上げたとおり、2013年3月に国家プログラム「極東及びバイカル地域の社会経済発展」が取りまとめられた。しかし、その時点ではその国家プログラムの中核となるべき連邦特定目的プログラム「2018年までの極東及びバイカル地域の経済社会発展」の策定は先送りされているという、何とも中途半端なスタートであった。現行の連邦特定目的プログラムは2013年を終期としており、間もなく終了してしまう。後継プログラムの策定が急がれるゆえんであるが、2013年9月時点では正式な採択には至っておらず、極東開発省のウェブサイトにプログラムの案文が掲載されているのみである。とりあえずこの案に基づき、現行のプログラム³と比較してみると、次のような特徴が指摘できる。

まず、インフラ整備を通じたビジネス環境、投資環境の改善を図るという主要目標は継続されている。文章表現に若干の変化はあるものの、基本的な考え方は変わっていない。

また、対象期間が1年間短い⁴こともあって、全体事業費規模が現行プログラムを下回っている。現行プログラム

には、2012年のウラジオストクAPECのためのインフラ整備を中心としたサブプログラムが付随していたが、これも合わせた事業費総計は9,850億ルーブル（約3.1兆円）であるのに対して、後継プログラムは9,085億ルーブル（約2.8兆円）である。1年あたりの事業費の単純平均では、後継プログラムの方が大きくなるが、インフレを考慮すれば、決して規模が拡大したとは言えない。

内容面では、いわゆる社会政策分野のインフラが除外され、交通インフラ偏重とも言えるプログラムとなっている点が指摘できる。保健分野などのインフラ整備は、現行プログラムから引き継いだ事業分として2013年に40億ルーブル（約120億円）が計上されているのみでそれ以降は事業計上されていない。イシャーエフ極東開発相（当時）は、社会政策分野については、それぞれ全国ベースのプログラムがあり、その枠内で極東での事業も実施されることになる⁵と発言している。部門別で事業費が大きいのは鉄道（5,621億ルーブル）であり、その他の道路、港湾、空港なども含めた交通インフラ合計で8,124億ルーブル（総事業費の89.4%）を占める。

財源別では、連邦予算投入額が5,410億ルーブル、地方予算が251億ルーブル、民間資金が3,425億ルーブルである。連邦予算の占める割合は59.5%で、現行プログラムの44.5%に比べて15パーセントポイントも上昇した。

9月に極東開発相が電撃的に交代（新大臣はアレクサンドル・ガルシカ氏）したこともあり、ここで紹介したプログラム案が大きく修正される可能性も否定できない。引き続き、動向をフォローしていきたい。

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

¹ 本号掲載のパーベル・ミナキル氏の論文にも同様の指摘がある。

² ERINA REPORT no.112参照。

³ 2013年4月15日付、政府決定343号による修正までを反映した最新版に準拠。

⁴ 現行プログラムは2008～13年の6年間、後継プログラムは2013～17年の5年間の事業を計上。

⁵ 2013年7月17日付、極東開発省ウェブサイト掲載ニュース。

鉱工業生産高成長率（前年同期比%）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	5.1	6.3	6.8	0.6	▲9.3	8.2	4.7	2.6	4.0	3.1	0.0	0.1
極東連邦管区	2.6	4.2	35.1	▲0.2	7.6	6.5	7.5	2.8	1.0	0.3	▲1.9	1.8
サハ共和国	▲6.6	0.0	0.5	4.2	▲13.6	18.0	10.5	6.3	3.0	0.6	1.2	5.2
カムチャッカ地方	6.6	1.6	0.6	0.9	▲0.2	8.6	20.1	7.8	22.6	14.9	1.1	2.0
沿海地方	19.7	12.6	2.1	14.6	▲2.7	13.5	17.4	10.1	8.7	14.2	2.0	10.2
ハバロフスク地方	4.5	▲10.7	10.1	▲7.4	▲6.8	21.3	12.9	10.6	19.0	12.0	▲0.1	2.7
アムール州	▲4.3	4.7	2.6	11.4	11.4	0.1	18.0	2.0	▲1.1	▲1.1	21.0	16.1
マガダン州	2.6	▲11.2	▲9.0	2.1	5.8	3.3	7.1	7.7	32.5	11.0	10.9	5.8
サハリン州	12.7	31.1	2.3倍	▲9.2	26.6	0.0	2.3	▲3.4	▲6.7	▲4.9	▲7.4	▲3.2
ユダヤ自治州	3.0	4.2	22.7	18.6	▲18.8	2.3	0.4	5.0	▲3.4	▲5.8	5.6	▲1.9
チュコト自治管区	20.4	▲9.1	▲2.3	77.4	16.3	▲9.7	▲6.4	▲1.7	▲11.7	▲9.4	▲3.7	▲1.8

（出所）『ロシア統計年鑑（2011年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2011年）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年6、9月；2012年6、9、12月；2013年3、6月）』（ロシア連邦国家統計庁）

固定資本投資成長率（前年同期比％）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	10.9	16.7	22.7	9.9	▲15.7	6.0	8.3	6.6	16.3	11.6	0.1	▲1.4
極東連邦管区	7.4	2.3	18.9	11.7	7.1	▲2.1	21.4	▲14.8	▲8.4	▲9.2	▲21.5	▲20.9
サハ共和国	30.2	2.1	92.2	14.0	9.4	▲42.7	23.6	10.2	46.4	37.4	▲26.0	▲13.9
カムチャッカ地方	12.0	5.2	33.5	5.4	27.7	7.1	▲4.0	5.8	45.6	3.5倍	▲59.2	▲44.2
沿海地方	29.3	6.4	20.6	41.5	74.3	17.1	21.3	▲41.0	▲33.3	▲40.7	▲50.6	▲51.1
ハバロフスク地方	1.8	8.7	22.9	9.9	8.1	27.4	3.9	▲11.3	▲30.0	▲23.0	▲8.2	▲18.0
アムール州	▲5.3	5.1	38.9	24.1	▲11.4	14.0	36.1	▲20.0	▲26.3	▲39.2	▲14.5	▲2.1
マガダン州	5.3	23.9	28.7	15.1	▲0.2	▲19.2	0.8	21.3	48.3	50.1	72.2	32.5
サハリン州	1.7	0.3	▲18.1	▲5.4	▲24.6	7.8	26.6	▲8.1	23.1	31.7	▲3.4	▲11.2
ユダヤ自治州	54.5	▲1.2	20.3	4.5	▲16.3	2.1倍	28.8	▲11.5	▲50.8	▲39.5	▲69.1	▲55.0
チュコト自治管区	▲38.6	▲38.6	1.6	29.5	61.9	▲72.6	64.9	51.6	38.4	58.3	15.4	23.0

(出所)『ロシア統計年鑑（2011年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2011年）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年7、10月；2012年7、10月；2013年1、4、7月）』（ロシア連邦国家統計庁）

小売販売額成長率（前年同期比％）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	12.8	14.1	16.1	13.6	▲5.1	6.3	7.2	5.9	7.5	7.1	3.9	3.7
極東連邦管区	12.5	12.9	11.2	10.6	0.7	3.8	4.4	4.9	5.6	6.0	4.2	4.5
サハ共和国	5.5	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	2.7	2.6	2.6	1.8	0.9	2.4
カムチャッカ地方	5.3	10.8	12.8	9.4	1.6	3.1	2.2	2.1	2.5	▲1.0	0.4	0.2
沿海地方	19.0	12.9	11.8	9.9	▲2.3	2.2	2.4	4.2	8.2	9.2	5.6	7.3
ハバロフスク地方	13.5	13.3	15.3	7.9	3.6	6.2	3.6	4.9	1.7	3.2	5.9	5.8
アムール州	10.6	13.7	12.0	12.8	▲2.5	6.0	18.7	14.3	18.4	17.5	7.2	5.7
マガダン州	8.3	9.6	10.0	3.1	▲0.3	4.4	0.5	6.3	3.4	4.4	9.3	8.9
サハリン州	14.6	22.1	7.9	20.0	2.5	2.3	3.2	2.0	2.9	3.6	0.7	▲0.3
ユダヤ自治州	9.5	5.4	6.1	8.1	1.9	2.7	▲0.7	6.5	▲0.6	2.8	2.3	0.6
チュコト自治管区	▲1.3	6.4	12.9	55.9	3.2	8.2	1.6	▲10.7	▲11.0	▲7.9	▲5.0	▲8.2

(出所)『ロシア統計年鑑（2011年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2011年）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年6、9月；2012年6、9、12月；2013年3、6月）』（ロシア連邦国家統計庁）

消費者物価上昇率（前年12月比％）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	10.9	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	6.1	6.6	1.5	3.2	1.9	3.5
極東連邦管区	13.3	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	6.8	5.9	1.2	2.8	1.9	3.4
サハ共和国	12.1	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	7.0	5.4	1.1	2.3	1.6	3.0
カムチャッカ地方	21.5	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	5.8	5.6	0.6	1.5	1.0	2.5
沿海地方	12.4	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	5.6	6.0	1.6	3.3	2.1	3.4
ハバロフスク地方	13.6	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	7.9	5.4	0.9	2.7	1.9	3.5
アムール州	13.2	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	7.6	7.2	0.9	2.5	1.8	3.7
マガダン州	12.4	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	9.2	8.7	2.2	4.2	2.8	4.3
サハリン州	14.1	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	6.4	6.0	1.1	2.4	1.8	4.0
ユダヤ自治州	14.5	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	8.9	6.5	1.5	3.2	2.5	4.1
チュコト自治管区	15.3	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	5.4	6.0	1.9	4.6	2.8	2.9

(出所)『ロシア統計年鑑（各年版）』；『極東連邦管区の社会経済情勢（2011年）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年6、9月；2012年6、9、12月；2013年3、6月）』（ロシア連邦国家統計庁）

実質貨幣所得成長率（前年同期比％）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	11.7	14.1	13.1	3.8	1.8	4.7	1.1	4.8	3.0	3.6	5.0	5.2
極東連邦管区	10.4	12.1	10.6	3.4	4.0	3.5	1.8	2.6	4.4	5.2	6.1	5.7
サハ共和国	5.8	6.1	5.1	8.6	1.7	2.7	3.5	4.0	3.6	5.4	2.9	1.1
カムチャッカ地方	6.8	7.1	8.8	4.9	3.9	2.3	5.2	▲2.6	▲4.1	▲2.7	4.4	4.9
沿海地方	15.4	15.0	10.6	4.0	6.5	5.9	1.3	2.5	6.1	5.3	8.0	8.9
ハバロフスク地方	8.5	14.3	12.1	▲4.9	8.4	5.3	▲2.0	0.5	1.5	2.5	6.6	5.5
アムール州	9.6	10.3	19.6	11.5	▲5.5	▲1.6	17.8	13.9	27.6	29.7	4.0	3.6
マガダン州	3.1	9.1	6.8	1.0	2.5	2.5	0.1	8.7	10.8	6.9	2.0	7.2
サハリン州	14.4	14.1	12.4	6.8	▲0.6	▲1.1	▲4.1	▲2.2	▲4.8	▲3.5	11.9	8.5
ユダヤ自治州	8.3	8.3	5.5	12.0	4.7	2.7	▲1.0	3.2	▲7.0	0.5	0.6	1.5
チュコト自治管区	17.3	7.2	4.4	5.2	▲8.1	4.0	▲12.5	▲13.8	▲9.0	▲7.0	▲2.5	▲2.2

(出所)『ロシア統計年鑑（2009年版、2011年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年7、10月、2012年1、7、10月；2013年1、4、7月）』（ロシア連邦国家統計庁）
*斜体：速報値

平均月額名目賃金（ルーブル）

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	12・1-3月	12・1-6月	13・1-3月	13・1-6月
ロシア連邦	8,555	10,634	13,593	17,290	18,638	20,952	23,693	26,822	24,407	25,476	28,788	27,339
極東連邦管区	11,508	13,711	16,713	20,778	23,158	25,814	29,421	33,611	30,444	31,700	35,608	33,876
サハ共和国	13,437	16,168	19,409	23,816	26,533	28,708	33,289	39,751	35,500	37,523	43,411	39,825
カムチャッカ地方	15,477	18,541	21,815	27,254	31,570	35,748	39,568	43,156	39,593	41,482	47,641	43,812
沿海地方	8,926	10,903	13,174	16,805	18,997	21,889	24,433	27,453	25,249	26,141	28,419	27,282
ハバロフスク地方	11,336	12,888	15,884	18,985	20,455	22,657	26,702	30,908	27,407	28,694	32,095	30,707
アムール州	9,392	11,111	13,534	16,665	19,019	21,208	24,371	26,859	24,130	24,840	28,797	28,037
マガダン州	14,673	17,747	22,102	28,030	32,657	36,582	44,240	51,061	45,630	47,944	55,374	52,797
サハリン州	15,243	18,842	23,346	30,060	32,626	35,848	38,458	44,453	41,995	42,802	46,509	45,792
ユダヤ自治州	8,190	9,529	11,969	15,038	16,890	19,718	22,886	25,244	22,933	24,095	26,117	24,869
チュコト自治管区	23,314	25,703	30,859	38,317	42,534	46,866	54,314	62,856	56,615	60,236	67,783	65,035

(出所)『ロシア統計年鑑（2009年版、2011年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2011年1、7、10月；2012年1、7、10月；2013年1、4、7月）』（ロシア連邦国家統計庁）